

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

教育支援拠点整備事業

事業の経過・背景・課題

不登校児童生徒の居場所づくりとして開設した教育支援教室（旧適応指導教室）について、京田辺市学校教育審議会の答申を受け、不登校児童生徒やその保護者に対する教育相談機能の強化を行い、多様化する不登校児童生徒への支援を進める。

取組内容

交付実績額： 6,129 千円

2つある教育支援教室を集約し、教育相談機能を強化するとともに、家庭から出られず、支援を受けることができない児童生徒へ指導員が宅訪による支援等を行う。

- ・教育支援教室について、現在の場所から商工会館（CIKビル）への移転を実施
- ・学習支援や教育相談活動の充実
- ・カウンセラーの配置による教育相談事業の充実
- ・不登校児童生徒に対する個別の支援や宅訪による支援の実施



事業の成果・今後の展望等

不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保や個に応じた支援の充実による、効果的な自立支援に繋がった。

今後は、特別支援教育の観点からの相談等に対応するため、発達検査等を行う機能を加えるとともに、福祉的な観点からの支援を行うため関係機関との連携推進を図る。

問い合わせ先

京田辺市教育委員会こども・学校サポート室（0774-64-1325）

アクセス



アイリス (京田辺市教育支援センター)

- JR 京田辺駅 東南階段下りて、約50m東へ
- 近鉄新田辺駅 西側出口より、約200m西へ

〒610-0334 京田辺市田辺中央4丁目3-3
京田辺市商工会館(CIKビル)1F・3F

◆教育相談等のお問い合わせ・入室のご相談について
ご希望の方は、在籍している学校又は教育支援センターにご連絡・ご相談ください。

京田辺市 教育支援センター



「アイリス」について

通室している生徒が、センターの愛称にふさわしい花言葉をもつ花はないかと調べ、考えた結果、この愛称となりました。

「アイリス」には、「希望」「優しさ」「知恵」「良き便り」という意味を持ち、この場がお互いの気持ちを理解し合うことで「優しさ」を身につけたり、知識だけでなく「知恵」を身につけたりすることができる場になり、そして、将来に対する「希望」を抱いて自立し、「良き便り」を伝えあえるような関係が続くようにという願いが込められています。

〒610-0334

京田辺市田辺中央4丁目3-3 京田辺市商工会館(CIKビル)1F,3F

☎ (0774)65-4001

✉ kyouikushien-c@city.kyotanabe.lg.jp

理念

京田辺市における不登校支援をより一層効果的で充実したものとしていくため、不登校児童生徒の支援はもちろん、未然防止の観点から教育相談活動も強化し、保護者や児童生徒の不安をできるだけ早く受け止め、その後の支援につなげていくことができるよう、本センターが総合的に取り組んでいきます。

また、本センターがもう一つの居場所として、児童生徒が安心して学習したり、小集団活動したりする場として支援し、社会的自立を目指します。

対象

京田辺市に在住の児童生徒(希望者)及びその保護者

* 私立の小中学校に通学している児童生徒も対象です。

【保護者とのつながり】

- ・ たより発行
- ・ 保護者懇談
- ・ 電話等による保護者相談
- ・ 必要に応じ支援員から連絡 等



【学校とのつながり】

- ・ 通室生の出欠確認
- ・ たより発行
- ・ 学校(担任等)との懇談
- ・ 学習や活動の様子について連絡や情報交流を行います。
- ・ 教育支援センターに来ている日は、学校の出席扱いとなります。



(教育支援センター)

アイリスにある3つの教室について

【活動内容】

- ・ 軽スポーツ・制作活動・読書活動などの体験活動や季節の行事などを行います。
- ・ 一人ひとりの学習の様子に応じて、相談しながら学習内容を決めて進めていきます。
- ・ 自分のペースで学習できるように、支援員が個々の子どもの様子を見ながら、支援を行います。
- ・ 希望者には、ICTを活用した支援も行います。
- ・ 家から出にくい児童生徒については、訪問による支援も行います。

【開室・活動時間】

- ・ 毎週月曜日から金曜日
- ・ 土日祝祭日は閉室
- ・ 月～金 9時～13時45分
 - * 木曜日に会議がある場合は、12時まで
 - * 午後も通室する日は、昼食を持参
 - * 個別の学習は、希望により16時まで
 - * 小中学校の長期休業期間は、午前中のみ開室します。



小集団で体を動かしたり、制作活動したりする、集団活動する教室



一人一人のペースに合った学習をする教室



教育相談を行う教室

【臨床心理士による個別の教育相談】

(保護者、児童生徒対象)

- ・ 相談時間は10時～12時、13時～16時
(年末年始、お盆、春休みを除く、平日月曜日から金曜日)
- ・ 相談の受付は、月曜日～木曜日の9時～12時、13時～16時
- ・ 専任の臨床心理士による教育相談を専用の部屋で行います。
- ・ 教育相談は、1回50分(1日5枠設定)
- ・ 京田辺市在住の方であれば、どなたでも相談できます。

* ただし児童生徒本人のみの相談については、保護者の了承が必要です。

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学校特色化事業

事業の経過・背景・課題

本市では、児童生徒数が増加する学校がある一方、少子化により減少する学校も存在し、今後、学校間の児童生徒数の偏在が進行していくことが予想される。

このため、令和5年4月に「児童生徒数の偏在解消に向けて短期的に解決すべき課題への基本的な方針」を教育委員会として決定し、中学校間における生徒数の偏在解消に向け、校区再編ではなく、校区を超えて中学校を選べる学校選択制度を導入。

取組内容

交付実績額： 4,093 千円

生徒数が減少している培良中学校の特色化を図るため、「生徒一人一人がいいき活躍する学校」「わくわくどきどきとまらない学校」をコンセプトに、生徒が輝き、個が高まる取組を実施。

- ・外国語教育の推進
- ・体験活動の充実（職場体験、農業体験等）
- ・ICT活用強化
- ・相談体制の充実
- ・新たな部活動の取組（e-sports活動など）など



事業の成果・今後の展望等

外国語教育の推進…外国語指導助手を配置することで、授業時間だけでなく、休み時間に生徒が英語で指導助手と交流する姿が多く見られた。授業においても外国語指導助手が英語教諭とともに、生徒にとって楽しい授業を作り、生徒は、英語への興味関心を高めていた。

体験活動の充実（職場体験、農業体験等）…京都市内へ職場体験へ行き、実際に様々な職業体験を行い、働くことについて学ぶことができた。農業体験については、地域の方々の協力の下、実際に収穫体験をし、農業の現状とともに学ぶことができた。今後は大学との連携を充実していくなど新たな学びの機会を作っていきたい。

ICT活用強化…放送室の環境を整備し、学校集会などに活用できた。今後は、学校での取組を校外へも発信することも視野に入れて取り組む。また、e-sports活動のため、学校のパソコンルームの整備を行った。

問い合わせ先

京田辺市教育委員会子ども・学校サポート室（0774-64-1325）

在籍生徒数 令和5年5月1日現在
フリースクール生徒含む

		1年	2年	3年	特別支援	計
学級数		2	3	3	2	10
生徒数	男	40	36	57	7	140
	女	34	47	40	2	123
	計	74	83	97	9	263

学校選択制度を 希望される方のスケジュール

9月上旬 14日	生徒募集要項配布 学校公開 (13:00～17:00)
10月17日	学校公開 (13:00～17:00) 保護者学校説明会 (16:00～)
11月 上旬 13日～17日 17日	入学意思確認 学校公開週間 新1年生保護者入学説明会 ※入学にあたっての説明 を、学校にて行います。

令和6年度の学校選択制についてのQ&A

Q1：学校選択制度とは、何ですか？

A→学校選択制度とは、令和6年度に京田辺市立田辺中学校区と大住中学校区に在住する生徒が、培良中学校へ入学することができる制度です。

Q2：培良中学校区の小中学校に在籍している児童生徒は、手続きをする必要はありますか？

A→必要ありません。

Q3：いつまでに入学を決めればよいですか？

A→11月上旬を目安としています。目安の時期を過ぎる場合は、ご相談ください。具体的な日程は、9月配布の募集要項をご覧ください。

Q4：学校を決定するまでに、学校の様子を見たいのですが。

A→10月17日の保護者学校説明会にお越しください。その際に学校の様子を見ていただくよう計画しています。当日都合が合わない場合は、培良中学校へお問い合わせください。その他、学校公開の日も設定しております。

Q5：学校までは、どのように通学すればよいのですか？

A→区域外からは徒歩か自転車、公共交通機関による通学となります。

Q6：中学2年や3年からでも入ることはできますか？

A→可能です。その際は、教育委員会へご相談ください。

※ご質問などあれば、教育委員会へお問い合わせください。

学校名『培良』の由来

『培良』の名称は明治11年にさかのぼる。それまでの田辺村などの済美館（現在の田辺小学校）から分離し、新たに草内村と東村の2村が連合して、同年「培良校」が開校した。

「良い人材を養成する」ことを願って命名されたものである『培良』の名は明治22年に草内尋常小学校と改名されるまで続いた。

昭和57年4月、田辺町立田辺中学校の生徒急増により分離開校されたおり、当地に遺されていた『培良』が校名とされたものである。

培良中学校へのアクセス



京田辺市立培良中学校

特色化事業・学校選択制度

学校選択制度
保護者学校説明会を開催！

興味のある方は参加してね。

《保護者学校説明会》
10月17日（火）16時～
培良中学校

●イラストは、京都精華大学マンガ学部アニメーションコースの長江心春さんに協力いただきました。

令和6年度 学校選択制度 スタート！

いきいき わくわく どきどき

一人一人の心を高める 一人一人の学びを高める 一人一人の能力を高める

令和6年度2,3年生に
ついてはご相談ください。

京田辺市立培良中学校 0774-62-9363
京田辺市教育委員会 0774-64-1391

培良中学校特色化事業

コンセプト 生徒一人一人がいきいき活躍する学校
わくわくどきどきがとまらない学校
一個が輝く・個が高まるー

いきいき 一人一人の心を高める

・ICT活用強化

デジタル教材の活用を通して、生徒一人一人の学力を高めます。校内外に様々な情報をオンラインで配信できるよう、スタジオ機能を確保した放送室の整備を進めます。

・職場体験学習の充実

企業、専門学校等への体験学習を充実させるとともに、農業体験学習等を実施し、体験を通じた協働的な学びを深めます。

・スクールカウンセラーの配置時間の拡充

学校生活において、生徒が抱える様々な悩みや不安の解消に向け、スクールカウンセラーを追加配置します。

わくわく 一人一人の学びを高める

・ALT(外国語指導助手)の常駐配置

生徒がより英語に親しめるよう、ALT(外国語指導助手)が常駐し、授業だけでなく、休み時間等、様々な場面で英語に触れる環境づくりに取り組めます。

・高校や大学との連携

近隣の高校や大学と連携し、専門的な学習を行い、ときには教室から出て、様々な体験を通して、深い学びの機会を設定します。

・魅力ある修学旅行

日常とは異なる環境の中で、学びを深められるよう、生徒にとって魅力ある修学旅行を企画しています。(令和5年度は沖縄へ)

どきどき 一人一人の能力を高める

・e-sports活動

専用のPCや通信環境などを整備し、今ある部活動の中に、新たな活動として取り入れ、チームスポーツとして活動していきます。

・地域ハンドボールクラブ

地域の指導者の下、ハンドボールの楽しさやチームスポーツの良さを見いだせる活動を行います。

令和6年度以降も、様々な取組を進めていきます。



培良中学校って、どんな学校？

学校教育目標

『自己を磨き、人を大切にする生徒』の育成

目指す生徒像

- | | |
|----------------|-----|
| 1 自ら学び、考える生徒 | (知) |
| 2 人間性豊かな生徒 | (徳) |
| 3 心身ともにたくましい生徒 | (体) |



学校全員で同じ内容の学習に取り組み、成果を確かめます。学期に1回計画し、漢字や計算を行っています。

培良中学校の一年間

1 学期

- ・入学式
- ・1年B-Sキャンプ
- ・新入生歓迎会
- ・綴喜春季大会(部活動)
- ・1年家庭訪問
- ・3年修学旅行
- ・2年進路体験学習
- ・生徒総会
- ・教育相談強化週間
- ・漢字コンクール
- ・三者面談
- ・綴喜・山城夏季大会(部活動)

入学後、培良中学校での生活や学習、そして仲間作りの場として行っています。

2 学期

- ・文化発表会
(合唱コンクール)
- ・1年フィールドワーク
- ・綴喜新人大会(部活動)
- ・体育大会
- ・2年職場体験学習
- ・小学生体験入学
- ・教育相談強化週間
- ・計算コンクール
- ・B-Flowerプロジェクト
- ・三者面談

高齢者施設に訪問し、鉢植えを渡したり、ハンドベル演奏などの交流をする福祉体験学習です。

3 学期

- ・英単語コンクール
- ・公立高校前期選抜
- ・私立高校入試(京阪神方面)
- ・公立高校中期選抜
- ・卒業証書授与式



培良中学校の魅力



・ICTを活用した授業を、積極的に行っています。



・小規模校ならではの人間関係づくりができます。



日々の培良中学校の活動については、学校ホームページへアクセスしてください。



学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学習意欲向上事業

事業の経過・背景・課題

G I G Aスクール構想の中、小中学校各校に1人1台の学習用タブレット端末を配備し、各校で創意工夫し、I C T機器の活用を行っている。個別最適な学びの実現のため、スタディ・ログの活用による評価と的確な支援が求められている。

I C Tのより効果的な活用方法を探りながら、児童生徒の実態に応じて、1人1人の学力を定着させる必要がある。

取組内容

交付実績額： 1,465 千円

- ・「みんなの学習クラブ」を各タブレット端末にインストール
 - ＊「みんなの学習クラブ」：インターネット配信のプリント教材
- ・市内で活用方法の交流と有効活用の検討を行う

【事業実施スケジュール】

- ・令和5年4月：みんなの学習クラブ導入 周知
- ・令和5年5月：みんなの学習クラブ周知
- ・令和5年2学期：活用状況交流
- ・令和5年3学期：活用の振り返り、次年度に向けて総括



事業の成果・今後の展望等

- ・スタディ・ログの活用による児童生徒の学習意欲の向上
- ・基礎学力の定着
- ・課題作成や採点業務の軽減による教職員の働き方改革の推進
- ・継続した取組により、個別最適な学びを深める。

問い合わせ先

京田辺市教育委員会こども・学校サポート室（0774-64-1325）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学校における医療的ケア児支援体制整備事業

事業の経過・背景・課題

令和４年度：医療的ケアを実施するための基本的な方針や必要な事項等を示す「京田辺市医療的ケア児ガイドライン」の策定等を行い、学校における医療的ケア児の支援体制について保護者や関係者と協議を進めた
令和５年度：医療的ケアが必要な児童を支援するため対象校に看護師を配置

取組内容

交付実績額： 982 千円

京田辺市医療的ケア児ガイドラインに基づき、医療的ケアが必要な児童を支援するために市立小・中学校に看護師を配置し、医療的ケア児が学校で安全な生活を過ごせるよう支援する

【実施スケジュール】

令和５年４月：派遣看護師業務契約の締結
令和５年４月～令和６年３月：派遣看護師の学校配置



事業の成果・今後の展望等

学校に在籍する児童が生命の維持又は健康状態の維持・改善のために必要とする医療的ケアを行う看護師を配置することで、児童が学校で安全な生活を過ごすことができた。
今後も支援を要する児童生徒に対して、継続した看護師配置を行う。

問い合わせ先

京田辺市教育委員会学校教育課（0774-64-1392）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

小学生泳力向上事業

事業の経過・背景・課題

市立小学校における水泳授業については、天候不良や昨今の気温上昇により、授業のコマ数の確保が難しくなっているほか、学校の教員にとっても、プール清掃や水温・水質管理等の授業準備に係る負担が大さいといった課題を抱えていた。

取組内容

交付実績額： 9,348 千円

天候不良や気温上昇に左右されない安定した授業実施と児童生徒の泳力向上を図るため、屋内の民間プール施設において、専門のインストラクターによる効果的な水泳授業を試行

【事業実施スケジュール】

令和5年6月～7月：市立9小学校中6校の各2学年（うち1校は全学年）において試行を実施



事業の成果・今後の展望等

屋内の民間プール施設において水泳授業を実施することで、天候に左右されず、安定した授業を実施することができた。また、専門のインストラクターの指導により授業の安全性が確保されるとともに、個別指導の充実により児童生徒の泳力向上につながった。

アンケート調査の結果、児童・保護者・教職員ともに今後も継続を希望するなど好評を得ていることが確認できたことから、令和6年4月から全小学校において屋内の民間プール施設を活用した水泳授業の民間委託を実現することになった。

問い合わせ先

京田辺市教育委員会学校教育課（0774-64-1392）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学校給食防災啓発事業

事業の経過・背景・課題

令和6年4月開所の京田辺市学校給食センターにおいて、施設内に設ける見学エリアに災害時に利用できる移動式煮炊釜の展示を企画している。

取組内容

交付実績額： 313 千円

児童生徒が、災害時の食事の重要性や日常生活において防災意識を高めることができるよう、学校給食センター施設見学エリアの充実を図る。

- ・令和6年4月に京田辺市学校給食センターを開所
- ・京田辺市学校給食センター操業後に児童生徒の施設見学を受け入れ

【事業実施スケジュール】

令和6年1月：移動式煮炊釜購入にかかる見積依頼・物品購入に係る契約

令和6年3月：対象機器の納品・検査

令和6年4月～：施設見学にかかる児童生徒の受け入れ



事業の成果・今後の展望等

今後は、対象機器を利用し、施設見学エリアの啓発品の充実を図り、市立小中学校の児童生徒が京田辺市学校給食センターの施設見学をきっかけに、食生活に関する知識と理解を深めるとともに、災害時における食の確保の重要性や災害への備えの重要性への理解を深めることができるよう意識の醸成・啓発に努める。

問い合わせ先

京田辺市教育委員会学校給食課（0774-64-1393）